

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日 2026年2月1日

事業所名: あけぼの園

事業所職員及び保護者の方の御意見を踏まえ、自己評価の結果を公表します。
評価を踏まえて、事業所の運営における課題点及び改善すべき点を確認し、今後の運営に活かしていきます。

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	○				46	1			・マット運動等のスペースも充分にあります。	
	2 職員の適切な配置	○				45	2			・とても丁寧に対応していただいています。 ・たくさん先生が関わってくださり本人も喜んでいきます。	
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障がいの特性に応じた設備整備	○				46	1			・白板にその日のスケジュールがあらかじめ書かれており分かりやすいです。	
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	○				46	1			・掃除もよくいきとどいており清潔に保たれています。	
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	○				/	/	/	/		
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施			○		/	/	/	/		外部評価は行っていませんが、あけぼの園は宇和島市の指定管理事業ですので、市と連携しながら業務を行っています。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	○				/	/	/	/		
適切な支援の提供	1 適切に支援プログラムが作成、公表されているか	○			ホームページに公表しています。	43	3		1		支援プログラムの公表の周知や園内の掲示を行います。
	2 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	○				46	1			・丁寧な聞き取りがあり、目標を一緒に考えてもらっている。 ・しっかり話を聞いてもらって、作成してもらっている。	
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	○				46	1				
	4 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	○				/	/	/	/		
適切な支援の提供(続き)	5 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	○				44	3				担当職員だけが支援計画の内容を理解するのではなく、支援に入る職員にも支援内容を伝え、チームで支援する体制を整えます。また、保護者にも分かりやすい丁寧な説明を行います。
	6 チーム全体での活動プログラムの立案	○				/	/	/	/		
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	○				43	4			・体幹、指先の動き、言語等色々な側面からプログラムされています。	季節に応じた療育内容や、発達年齢に応じた活動プログラムを作成しています。子どもによっては、同じプログラムを続ける中で安心して活動に取り組む、できる事柄を増やしていくことができます。子どもの状況により、プログラムが固定しないように内容を変え、また少しずつ変化させています。保護者の方にも活動の狙いをその都度、説明していきます。
	8 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	○				/	/	/	/		
	9 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	○				/	/	/	/		
	10 支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	○				/	/	/	/		

区分	チェック項目	事業所の現状評価				保護者の方の評価				評価を踏まえた改善内容・改善目標	
		はい	どちらともいえない	いいえ	工夫した点、改善点	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない		保護者の方のご意見
	11 日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	○				/	/	/	/		
	12 定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	○				/	/	/	/		
関係機関との連携	1 子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	○				/	/	/	/		
	2 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	○				/	/	/	/		
	3 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	○				/	/	/	/		
	4 児童発達支援事業所及び放課後等デイサービス事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	○				/	/	/	/		
	5 他の障害福祉サービス事業所等への円滑な移行支援のため、それまでの支援内容等についての十分な情報提供	○				/	/	/	/		
	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	○				/	/	/	/		
	7 児童発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障がいのない子どもと活動する機会の提供			○		26	7	4	10	・実際の交流具合についてはよく分かりませんが、文(おたより)などについては情報交換がよくされています。	年度内にみゆき保育園との交流を計画しています。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営		○			/	/	/	/		徒歩圏内に学校があり、地域の方にあげほの園を知ってもらうことができました。今後はあげほのフェスタ(夕涼み会)の案内等を発信していくことを検討しています。
保護者への説	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	○				46	1			・その時々で目的や効果などを教えてもらっています。	
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	○				46	1				
	3 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	○				37	8	2		・研修会等の開催により学習することができています。 ・よく集会や勉強会等聞いてもらっています。	親子療育では支援者が行う療育の場面を通じて、関わり方を学んでもらっています。また、いじ学級や療育相談では、専門家の話から子どもの発達を理解し、成長を促す関わり方を学ぶ機会を設けています。
	4 子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	○				44	3			・経過については文書で知らせてもらって安心しています。 ・子が側について話しにくかったり、先生がお忙しそうで話しかけられない時があります。事前に時間を作ってもらえないか確認した方がよいのでしょうか。	個別に丁寧に様子を伝えたり、サービス提供記録の確認をお願いしています。相談の際には、必要に応じて別室で子どもをお預かりすることもできます。事前の相談の確認をしていただくと、確実に時間をお取りすることができず、必ずしも必要というわけではありませんが、些細な事でも遠慮なくお声かけください。
	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	○				45	2				

